

8月17日(土)3日目 曇りのち雷雨、のち晴れ

〈主な日程〉

段位認定組は1日修行、
観光組は少林寺近辺観光

6時半ホテルのバイキングホールにて朝食をとった後、7時半全員貸切バスで少林寺に向かい、段位認定組と観光組に分かれ1日を過ごす。17時半頃少林寺出口に集合し、一同バスにて市内レストランへ直行。21時頃ホテルに戻る。

.....
[段位認定組]

8～10時、15～17時、少林寺にて段位認定のための指導を武僧様から受ける。昼食は僧侶の方々と同じ食堂にてとる。

[観光組(7名)]

観光組に参加したので、以下その詳細報告と感想を記載

8時半ガイドの朱さん引率で少林寺から徒歩にて裏山(少室山)へ。途中塔林を見ながら、リフト入り口まで直進する。

塔林は少林寺の西にある少林寺歴代の僧侶の墓地で、高い墓塔が林のように立ち並んでいて中国らしい。





麓からリフトで山を上がること約10分。小雨が降り始める中、リフトを降りて少し歩くと二祖庵に到着。二祖庵に足を踏み入れた途端、外界とは違う空気を感じる。しっとりと静かで、なんだか温かく落ち着く。こじんまりとした空間はまるで庵主'慧可'の懐に抱かれているかのような。そこにいるだけで心身癒され満たされる。「あー、ここにずっといたいね...」と一同まったりたたずむ。



二祖庵は禅宗の第二代祖師'慧可'が静養した場所。

仏法を請うため腕を切り落とした慧可を達磨大師が連れ養生させた場所。殿の前の小庭の四隅には「苦」「辛」「酸」「甘」と書かれた四つの井戸がある。慧可は修行を積んでいくうちに、それぞれ湧き出た水が苦味から辛味、酸味を経て、最後の井戸水は甘く感じられるようになったと言われていいる。ベテランガイドの朱さんの口からはそんな秘話仏法がどんどん出てくる。それも流暢な日本語で。ありがたや、私たちは手を合わせながら聞き入るばかり。



二祖庵を出て少し上ると見晴らしのよい頂に出た。植生は日本と変わらないのに山の形は中国的。その崖の端で慧可は座禅をしたという。すごい！



雨足が強くなってきたのでリフト乗り場に急ぐ。乗り場でビニール合羽をポンと渡され、早く着ろというジェスチャー。雷が鳴り始めた。「えー!!、この中をリフトでいくー?!!」日本だと考えられない。決死の覚悟で空中にダイブ！鉄塔にいつ雷が落ちるか分からない中、リフトは斜面を下りていく。怖～(¯〇¯;)’これも修行、中国ならではの貴重な体験だ。

地上に着くと雨は止んでいた。昼食は少林寺場外の屋台風餃子屋さん。大皿を埋め尽くす小さい水餃子が出てきた。中国ではこの一皿だけで昼食とするらしい。



昨日の達磨洞登りと今日のゲリラ雷雨で体は疲れきっている。明日からの予定も目白押し。午後各自買い物や休憩などしてゆっくり過ごすことにした。中国では予定があるようでない^^;。臨機応変、なんでもござれ、だ。

まずは秦先生と親しいお土産物屋さんへ。

前から欲しかった武僧着(¥6000 弱)やその他もろもろ、値引きとさらに円での現金払いを朱さんを見せて交渉、成立！！

Tシャツ(¥1100～¥3300)や袋もの等、思っていたより小洒落ていて品質も悪くない。

各自お気に入りのお土産を買った後は広場で休憩。



KFC の看板がある店で買ったアイスクリームは一口食べて断念...(-_-;)。

副団長でプロダンサーでもある宇田川千春さんは中国伝統衣装を購入。目の前にはステージがある...、よし、これはやるしかない！急遽、それを着て即興氣功舞ゲリラライブ敢行！見知らぬ観光客もノリノリ、素敵な時間を皆で共有。

17時半過ぎ、認定組と合流し、バスでそのまま市内のレストランへ直行。疲れた体に栄養補給。本日の秦先生おすすめの一品はスッポン！



充実した1日をそれぞれねぎらい、明日の予定確認後ホテルに戻って21時過ぎ解散。

今日も皆さん、大変よくできました！
今日の出会いに感謝！ お疲れ様でした！！

文責 國武佳代